

## ふるさとのみ仏を訪ねて ⑰ その① 元光寺(廢寺)の薬師如来坐像 (若狭区 法雲寺)

阿納尻から入海のほとりを若狭浦へと足を伸ばすと道の辺に、絵名郷の鼻という小さな岬があります。昭和二十年、六月のこと、日本海軍の駆逐艦『榎』が米軍の投下していた機雷に触れて船尾を爆破されたので、仏谷沖に曳航し座礁させました。この爆破で多くの乗組員が戦死されるといって、終戦を目前にした小浜湾での悲しい出来事がありました。この時に同じ艦隊であった駆逐艦『初梅』はこの岬の岸辺に船体を草木で覆い、小島のように見せかけて停泊していたといわれています。その岬を廻って右手の山裾の道を行くと、鬱蒼たる椎の巨木が茂る奥に社があります。その名も「椎村神社」。式内神社で天平四年(七三二)の創建とあります。



椎村神社

一千年も昔のこと、この地に『西の浦』(椎浦)という集落がありました。故あって村の人はこの地を離れ現在の東浦に移り住み、村の名も「若狭浦」と改名したといわれています。「諸説があります」でも、神社だけはそのままに残され現在も村の人たちによって守り継がれています。この神社の祭礼には「王の舞」が奉納されます。福井県無形文化財として知られ、素朴で古式豊かな伝統芸能が今に伝えられています。もう、三十年も前になりましたか、故老に案内をされ神社の参拝をさせていただきました折、神社の石段の下あたりに朽ち果てた桜の切り株を見せたいいただきました。うずたかく積もった落ち葉の下にわずかに痕跡を見つけたことが出来ました。畳にして二畳ほどあったとのこと。神仏習合の形式でここに元光寺があり、その境内に桜木があったと言われています。当時は、春になるとそれは見事な花を咲かせ山の王者のごとく君臨していたといわれています。古書により「明治三年(一八七〇)九月、台風は山を揺るがせ、元光寺境内にあった古桜が折れて倒れ、薬師堂の本堂を押し崩壊したが本尊、脇仏など奇跡的に助かり、これぞお薬師様の靈験あらたかな功德によるものとなお一層の信心をした」と記されています。その後、薬師堂は現在地の法雲寺地籍に新築されました。村のシンボルのように愛でられていた桜の倒木はお堂の鴨居や踏み台、腰板など随所に使われました。歳月がたち、いまは古色になっていますが在りし日の桜木を彷彿とさせています。平成20年、元光寺薬師堂の十七年目のご開帳があり、ご本尊『薬師瑠璃光如来坐像』を拝観させていただく機会に恵まれました。

若狭の語り部 倉谷 千恵子

### 第四回「二条院讚岐姫」短歌大会 選考終了!



#### 二条院讚岐大賞

今年3月からチラシを配布し募集してまいりました「第四回『二条院讚岐姫』短歌大会」は、9月20日(日)に田島の永源寺にて授賞式を開催する予定でしたが、新

〈一般の部 詠題「ふるさと」〉  
受話器から零れて来たる国訛り  
芋煮の湯気も流れ来さうな  
福井県敦賀市 永田 弘子

〈選評〉 お国訛りが零れてくるというところの方が良い。芋の湯気が見えるのだ。その向こうにふるさとがある。(市村善郎)

作者が結婚して敦賀に来られたか、あるいは東北出身の方が電話しているのを聞いておられるのでしょうか。東北では河原などに出かけ盛大に芋煮会をする聞いています。楽しいですね。(紺野万里)

〈一般の部 自由題〉  
嫁ぎたる娘の剥ぎ取りしアルバム  
跡に浮かびぬ家族の笑顔  
福井県若狭町 井上 弘子

〈選評〉 フィルム写真の時代のアルバムでしょう。剥がされています作者にはその写真がはっきりと見えています。持っていた娘はその写真から、母はその「跡」から、当時の「家族の笑顔」を懐かしむ。あるときには慰めに、あるときには祈りになる、そんな写真なのだと思います。(紺野万里) 持っていた写真が、家族が一番たくさん写っていたものかも知れない。写真の跡に笑顔が見えるのいい。(市村善郎)

型コロナ感染症の終息が見られないばかりか第2波も起きはじめ、やむなく中止することとなり、入賞された皆様には、表彰状と副賞、詠草集を郵送させていただくことになりました。また今回は選考代表より選評を書いて頂くことができました。

#### 二条院讚岐大賞

〈小中高校生の部 詠題「ふるさと」〉  
波の音ききながら見る水平線  
目を細めたら見える青色  
上中学校 西村 太陽

〈選評〉 遠く見える水平線。目を細めて見るという動作をきちんと歌った。青色という結句も感動がある。(市村善郎) 結句のすばらしさ、前評に賛成します。聴覚から視覚へのつながりも見事。読む者の胸も広がるような一首です。このようなふるさとの海を持つる幸せを思います。(紺野万里)

〈小中高校生の部 自由題〉  
あの海のあの地平線のむこうには  
きつと誰かが笑っているはず  
上中学校 守本 望夢

〈選評〉 海の向こう、大地の向こうをはるばると思う、その想像力がすばらしい。そこにはきつと誰かがいる、そして幸せがある、という確信が詠まれて、読む者の心も明るくなります。(紺野万里) 「だろっ」ではなく「はず」としたところが力強くなった。(市村善郎)

#### 【10月の行事予定】

- 1日(木)元氣ハツラツ教室
- 7日(水)定例区長会
- 10日(土)内外海保育園運動会
- 15日(木)地区老連役員会
- 16日(金)民生委員定例会議
- 17日(土)内小駅伝大会
- 22日(木)市長と語る夢トーク(中止)
- 25日(日)クリーンアップウォーキング
- 27日(火)短歌教室
- 29日(木)元氣ハツラツ教室

#### 参加者大募集!!

今年のクリーンアップウォーキングは、田島漁港出発で、久須夜交流センターを目指し歩きます。詳しくは別紙配布のチラシをご覧ください。

#### 【10月の休館日】

- 5日(月)
- 12日(月)
- 18日(日)家庭の日
- 19日(月)
- 26日(月)

# 第四回「二条院讃岐姫」短歌大会

それでは、他の入賞された方々を  
発表します。

## ◇一般(題:ふるさと)の部

- ◆ 小浜市長賞 東京都 荒井千枝さん
- ◆ 小浜市教育長賞 鯖江市 佐々木邦子さん
- ◆ 県歌人連盟委員長賞 坂井市 有馬奎悟さん
- ◆ 小浜市歌人協会会長賞 敦賀市 澤田信子さん
- ◆ 福井新聞社賞 敦賀市 関 淳子さん
- ◆ 優秀賞 小浜市 松岡照代さん
- ◆ 優秀賞 若狭町 井上弘子さん
- ◆ 優秀賞 小浜市 武内郁子さん
- ◆ 優秀賞 小浜市 谷口正枝さん
- ◆ 優秀賞 小浜市 領家公子さん

## ◇一般(題:自由題)の部

- ◆ 小浜市長賞 高知県 徳永逸夫さん
- ◆ 小浜市教育長賞 敦賀市 興法 恵さん
- ◆ 県歌人連盟委員長賞 小浜市 山口豊子さん
- ◆ 小浜市歌人協会会長賞 小浜市 古谷智子さん
- ◆ 福井新聞社賞 舞鶴市 安久菊枝さん
- ◆ 優秀賞 敦賀市 関 淳子さん
- ◆ 優秀賞 美浜町 高木敏美さん
- ◆ 優秀賞 鯖江市 斉藤宣子さん
- ◆ 優秀賞 敦賀市 上坂和枝さん
- ◆ 優秀賞 坂井市 林 洋子さん

## ◇小中高校生(題:ふるさと)の部

- ◆ 小浜市長賞 上中中2年 宇野賢志朗さん
- ◆ 小浜市教育長賞 内外海小6年 庄司吏杏さん
- ◆ 県歌人連盟委員長賞 上中中3年 古坂瑠都さん
- ◆ 小浜市歌人協会会長賞 上中中3年 中塚ひかりさん
- ◆ 福井新聞社賞 上中中2年 玉井菜月さん
- ◆ 優秀賞 西津小6年 山口大芽さん
- ◆ 優秀賞 若狭高3年 松井実夢さん
- ◆ 優秀賞 上中中3年 谷口珀斗さん
- ◆ 優秀賞 西津小6年 井上さらさん
- ◆ 優秀賞 若狭高3年 岡本聡真さん

## ◇小中高校生(題:自由題)の部

- ◆ 小浜市長賞 上中中2年 小林周平さん
- ◆ 小浜市教育長賞 上中中2年 山下直喜さん
- ◆ 県歌人連盟委員長賞 若狭高3年 吉田莉子さん
- ◆ 小浜市歌人協会会長賞 西津小6年 西友春道さん
- ◆ 福井新聞社賞 郷原中2年 山本明日香さん
- ◆ 優秀賞 上中中3年 藤川真帆さん
- ◆ 優秀賞 郷原中2年 山田瑞奈さん
- ◆ 優秀賞 上中中3年 中川妃華さん
- ◆ 優秀賞 上中中2年 井上栞里さん
- ◆ 優秀賞 若狭高3年 森下麟太郎さん

この度の選者の先生方を紹介します。  
福井県短歌人連盟より、市村善郎先生、  
紺野万里先生、上田善朗先生。  
小浜市歌人協会より、加納暢子先生、  
信谷冬木先生、山本保子先生、  
以上6名の方々でした。



## このたび第四回「二条院讃岐姫」

短歌大会の開催について二月に詳細を  
決定、三月から六月まで短歌を募集して  
九月の式典に向け取り組んで参りました。  
今回も一般一〇〇人の方々から一九二首、  
小学生・中学生・高校生二二一人の生徒さ  
んから二九七首、あわせて四八九首という  
大変多くの応募をいただきました。今回の  
詠題は「ふるさと」、懐かしい思い出や、ふ  
と思い出す景色や感動を巧みに三十一音  
で表現、また、自由に日常の感動、描き続け  
る夢、そのほか溢れる想いをギュッと詰め込  
んだ素晴らしい短歌が寄せられました。投  
稿をいただいた皆様には心より御礼を申  
上げます。そして八月に入っているよいよ  
式典本番に向け準備というところで、新型  
コロナウイルス感染拡大の状況があり、残  
念ながら今大会は中止の決定をいたしま  
した。

今大会において、選者の先生方に賜った  
ご支援ご指導と小浜市をはじめとする関  
係各位の深い御理解と御協力に対して心  
より感謝申し上げます。

最後に、次回は式典が開催できることを  
願いつつ、ますます魅力ある大会の運営を  
目指してまいりますので皆様方のお力添  
えをお願いいたします。

二条院讃岐姫短歌大会実行委員会  
委員長 野村 和司

## 内小PTA奉仕作業

8月30日(日)朝から小学校校庭の草取り  
や清掃作業がありました。例年は保護者と児  
童で開催するのですが、今年は、老人クラブ  
が毎年春に行う世代間交流を兼ねた草刈り  
作業が中止となっていたため、内老連より会  
長副会長など有志が庭の樹木の剪定に参加  
協力しました。学校中がすっかりきれいにな  
りました。お疲れ様でした。



## 地区老連 スティックリング体験会

9月16日(水)久須夜交流センターのホールにて、講  
師に市老連体育委員長の河島勇さんをお迎えし、ステ  
ィックリングの体験会を開催しました。内外海地区老  
連役員さんをはじめ24名が参加し体験しました。  
スティックリングは、福井県発祥のニュースポーツ  
で、屋内競技のため天候に左右されない利点がありま  
す。小浜市連合婦人会では一足早く体験会などが開催さ  
れており、今年から市老連も大会が開催されることにな  
りました。そこで内外海地区老連では、とにかく一度体  
験会を開催しようということになりました。



川代地区老連会長より開会の挨拶



カーリングとゲートボールを併せたような...

## 精霊送り

8月15日は甲ヶ崎、  
25日には西小川、田鳥  
の各区では、大きな精  
霊舟を作り、海に送り  
出していますが、今回  
取材に行った阿納、犬  
熊の海岸では、海に流  
さない精霊送りの行事  
が行われていました。



## 元気ハツラツ教室

9月10日、毎月一回  
開催されている元気ハ  
ツラツ教室に若狭高等  
看護学校の生徒3名が  
参加して、コグニサイズ  
の実習などをしました。



20年位前までは、精霊舟  
を作り、火をつけたものを  
泳いで海に送り出していた  
そうですが、その後は舟で  
曳航するようになったそう  
です。しかし、海洋ゴミが問  
題となつてからは、舟に見立  
て木や竹を組み旗を飾り、  
各家お供え物をして浜で燃  
やしているとのことでした。  
この日も、浜では区民が見守  
る中、笠井住職のお経が始まり、火が点けられ、  
ほぼ燃え尽きるまでお経が唱えられていました。

